

神話と映像観点から見る 「千と千尋の神隠し」

熊本北高校 2年

要旨

2001年に公開された「千と千尋の神隠し」が大ヒットした理由を映像と神話という2つの観点から調べ、考察した。結果、映像視点からは三幕構成や風景の細かく綺麗な作画・流れているBGMが作り出す雰囲気、神話視点からは作中で登場するトンネルを含む壁は結果であり、冥界と現世をつなぐものと考えられた。

背景・動機

「千と千尋の神隠し」は、ジブリだけでなく日本映画を代表する作品の一つである。「千と千尋の神隠し」が世界的な大ヒットを記録した背景に、散りばめられた伏線、作画クオリティの高さや物語の構成という映像的な観点があると考えた。その上、神話などの様々な要素が含まれており、伏線に関しての考察を様々な観点から見る事ができるという面白さがある。そこで、この映画がなぜこれほど大ヒットしたのかを、映像的観点と内容的観点の双方から探ることとした。

目的

- なぜここまで大ヒットを記録したのか、他のジブリ作品や他の会社作品との相違点を知る
- いろんな世代が楽しめるための話の構成や工夫
- 「千と千尋の神隠し」と神話の関係と謎の考察

結果

【映像班】

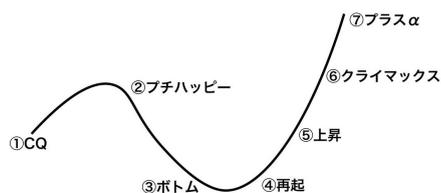
日本古来の価値観である神話をベースにし、映像に合わせて臨場感を持たせる音楽の使い方（階段を降りるシーン）や全てを語らないことで視聴者に考察する余地を残す。また、映像作品には三幕構成と呼ばれるお決まりのパターンがある

・CQ(セントラルクエスチョン)が提示され

・一度ボトムに落ち

・復活してクライマックスを迎える

このパターンが多くを締めている



引用元→<https://froggy.smbcnikko.co.jp/26593/>

調査研究手法

- インターネットで調べる
- 映像班：映像や音響、物語構成・脚本について

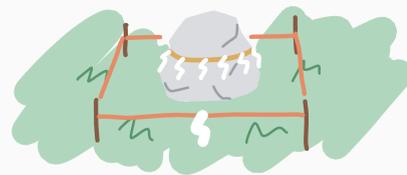
神話班：日本神話を中心とした話
(そこから読み取れる戒め)

- 文献調査
- 古事記や日本神話など

【神話班】

「神隠し」関連の単語

→「神奈備」「磐座」



↑磐座・結果イメージ

考察

【映像班】

- ・坊が連れて行かれた時に髪の毛が逆立ちぼうぼうと燃える画で怒り狂っているのを表現
- ジブリ作品独特の細かく綺麗な作画が見る人を引き込んでいる
- 「気づいたら見ていた」を起こす原因は風景の書き表され方・流れているBGMが作り出す雰囲気

【神話班】

- ・千尋の引越先＝神奈備
- ・ハクのセリフの「振り返らないで」は神話が元ネタ
- ・トンネル前の石像＝磐座
- ・トンネルを含む壁＝結果
- ・トンネルは冥界と現世をつなぐもの

結論・まとめ

千尋たちが神域に入ってしまったのは現世と神域の境界が曖昧になっていたから。様々なものに対する現代人の不丁寧さを表している。

展望

将来レポートや資料を作る際、より多くの人に見てもらい、納得してもらうための話の構造などを参考にできる。神話と色の関係についても探り、考察のをより確固なものにする

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A5%9E%E9%9A%A0%E3%81%97>

<https://www.kankou-shimane.com/destination/20332>